

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

(1) おもな動き

【推計人口】 2月

平成27年2月1日の推計人口 1,382,864 人
世帯数 567,296 世帯

1 推計人口

平成27年2月1日現在の推計人口は、1,382,864人で、前月(1,383,877)に比べ1,013人の減少となった。

市部では大村市(56)増加の1市で増加し、長崎市(371)、佐世保市(213)、五島市(60)、壱岐市(53)、雲仙市(49)、対馬市(47)、南島原市(45)、諫早市(44)、平戸市(41)、松浦市(31)、西海市(27)、島原市(26)の12市で減少した。

郡部においては、長与町(21)、佐々町(11)、川棚町(9)の3町で増加し、新上五島町(48)、時津町(21)、東彼杵町(19)、小値賀町(10)、波佐見町(5)などの5町で減少した。

自然動態は、出生数1,004人、死亡数1,854人で850人の減少、社会動態は、転入者数2,632人(県内転入を含む)、転出者数2,795人(県内転出を含む)で、163人の減少となった。

2 世帯数

平成27年2月1日現在の世帯数は、567,296世帯で前月(567,540)に比べ244世帯の減少となった。

(注)

異動人口推計 = H22国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】・・12月

1人あたり現金給与総額 506,890円
対前月比 100.6%増加
対前年同月比 3.9%増加

1 賃金

12月の常用労働者1人当たりの賃金をみみると、現金給与総額は506,890円で、前月に比べ100.6%増加し、前年同月に比べ3.9%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は244,337円で、前月に比べ1.1%増加し、前年同月に比べ3.0%増加した。

特別給与額は262,553円で、前年同月に比べて、11,762円増加した。

2 労働時間

12月の常用労働者1人当たりの労働時間をみみると、総実労働時間は150.8時間で、前月に比べ1.2%減少し、前年同月に比べ0.1%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は136.4時間で、前月に比べ2.1%減少し、前年同月と比べ0.1%増加した。

所定外労働時間数は14.4時間で、前月に比べ8.3%増加し、前年同月と比べると増減なしであった。

3 雇用

12月の常用労働者数は216,783人で前月比は、0.4%増加し、前年同月に比べ0.9%減少した。

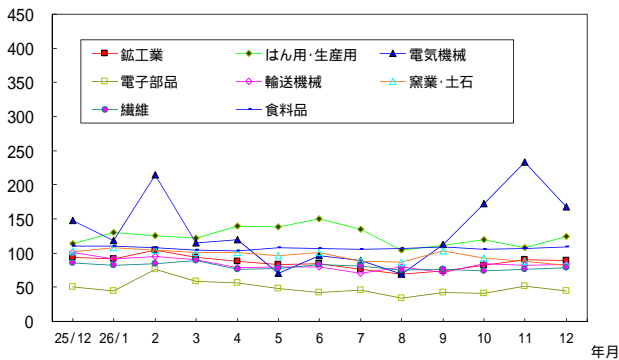
【鉱工業生産指数】.....12月

平成26年12月の鉱工業生産指数

(平成22年=100、九州は速報値)

区分	季節調整指数	前月比(%)	原指数	
			原指数	前年同月比(%)
長崎県	88.5	2.1	84.0	4.9
九州	101.0	1.6	105.1	2.7
全国	98.7	0.8	100.1	0.1

主要業種の動き (平成22年=100 季節調整済指数)



平成26年12月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が88.5で前月比は2.1%の減、原指数は84.0で、対前年同月比は4.9%の減となった。

業種別にみると、はん用・生産用機械工業、輸送機械工業、繊維工業、食料品工業など6業種が上昇し、電気機械工業、電子部品・デバイス工業、窯業・土石製品工業など7業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	15.3	5.5	ボイラー
輸送機械工業	2.6	15.6	新造船
繊維工業	2.1	7.9	織物製外衣
食料品工業	1.6	1.0	清酒

主な低下業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	低下に寄与した主な品目
電気機械工業	28.5	20.6	交流発電機*
電子部品・デバイス工業	12.5	10.3	半導体集積回路
窯業・土石製品工業	7.0	18.5	生コンクリート

(注) 前月比、季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 1月

総合指数(H22=100)	102.5
対前月比 (%)	0.2
対前年同月比 (%)	2.1

平成27年1月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成22年を100として、102.5である。

前月比は、0.2%の下落であり、下落要因は「被服及び履物」の4.1%、「教養娯楽」の1.6%、「交通・通信」の1.3%である。主な上昇要因は「食料」の+1.1%、「家具・家事用品」の+3.8%である。

前年同月比は、10月は+2.8%、11月は+2.0%、12月は+2.0%と推移した後、平成27年1月は2.1%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は102.4であり、前月比は、0.5%の下落、前年同月比は2.4%の上昇であった。

(前月との比較)

上昇した費目

食料	+1.1%
家具・家事用品	+3.8%

下落した費目

光熱・水道	0.4%
被服及び履物	4.1%
保健医療	0.4%
交通・通信	1.3%
教養娯楽	1.6%
諸雑費	0.3%

「住居」「教育」は前月と同水準

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…… 1月

消費支出(一世帯当たり)	297,735円
前月比	384,842円 (22.6%減)

平成27年1月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は297,735円で、前月比22.6%の減。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は84.8%であった。

主な支出内容	支出額(円)	前年比(%)
食料	69,224	14.1
住居	16,270	6.5
光熱・水道	30,595	27.8
交通・通信	34,920	29.0
教養娯楽	18,822	46.1

(注) この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがあります。「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず参考値として利用ください。